

## 地域がん診療拠点病院 院内がん登録標準項目 2006年度版について(変更の概要)

地域がん診療拠点病院院内がん登録定義の内容は、3年毎に検討、改訂されることとなっており、2003年度版を元に、がん臨床研究事業「地域がん診療拠点病院の機能向上に関する研究」班(主任研究者:池田 恢)の院内がん登録小班により検討が行われた。

今回の改訂では、「地域がん登録」の標準登録票項目(医療施設から地域がん登録に提供される情報の標準内容)との不具合を解消することを主目的とし、2003年度版の拠点病院院内がん登録定義に対して、問い合わせの多かった項目・内容についての問題解決を行うなど、変更内容を最小限にとどめることとなった。今回の拠点病院院内がん登録定義においても解決できていない問題については、さらに検討をつづけるとともに、定義の解釈などについてのFAQを公開して普及に努める。次回改訂は、2009年を予定している。

### 【変更点】

1. 部位、形態コードの国際疾病分類腫瘍学第3版(ICD-O-3)への一本化  
院内がん登録の完全標準化の2006年1月1日を期して、登録コード体系をICD-O-3に一本化した。
2. 多重がんの定義の一部変更  
院内がん登録における多重がんの定義は、臨床・病理医からの明示がない限り、基本的にこの内容に従うこととした。
3. 診断日不詳の場合の登録方法についての規程追加  
2003年度版では、日付不詳の場合の定義が示されていなかった。2006年度版では、日付不詳例についての定義を追加した。
4. 診断結果のコードを地域がん登録における標準登録票項目に合わせ修正  
地域がん登録の標準登録票項目の同名項目とコード内容が異なっていたため、今回変更を行い、地域がん登録との整合性を図った。
5. 受診目的、発見の経緯の追加  
この項目は、2003年度版の検討時には含まれていたが、その後の検討段階で削除された。しかし、地域がん登録の標準登録項目にこの項目が来院経路とは別に含まれることとなったため、院内がん登録の項目として、定義することとした。
6. 病理組織標本由来の項目追加  
地域がん登録の標準登録票項目では、病理組織診断が原発巣か転移巣かでコードが異なる。2006年度版では、これに対応し、これまでの内容とも整合性を図ることも考慮し、診断根拠の項目とは別に「病理組織標本由来」の項目を増設することとした。
7. 壁深達度の項目追加(オプション項目)  
地域がん登録で壁深達度を登録している地域(県)があり、今回の定義においても同項目をオプション項目として追加した。
8. UICC TNM 病期分類の詳細コードの提供  
2003年度版では、主要5部位を中心に簡易分類(亜分類を含まない内容)を用いた登録としていたが、亜分類までの記録に対する要望が多く寄せられた。しかし、詳細分類の登録については、各施設の対応が必要であり、2006年度版では、亜分類までの登録とはせず、簡易分類のままの登録続行とした。ただし、コード体系をあらため、数値での管理が可能となるように変更した。また、亜分類までの登録が可能な施設に対しては、UICC TNM 分類の全コードに関する情報提供をホームページ(<http://jcdb.ncc.go.jp>)を介して行うこととした。
9. 定義バージョン項目の追加  
今後の改訂に対応し、どの定義で登録を行ったかを把握するために定義バージョン項目を追加。
10. 2003年度版の項目名の一部変更、誤記の修正  
項目名の一部変更を行った。また、2003年度版において、存在していた誤記等を修正した。

その他の変更点は、付表『地域がん診療拠点病院 院内がん登録標準項目 2006 年度版(案)』を参照

《参考》

地域がん登録の標準項目

項目番号	項目名	区分
1	医療機関名	
2	カルテ番号	
3	姓・名	
4	性別	1 男 2 女 3 その他
5	生年月日	日付
6	診断時住所	住所
7	診断結果	1 新発生確診 2 治療開始後 3 疑診
8	初回診断日	日付
9	自施設診断日	日付
10	発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中(入院時ルーチン検査を含む) 4 剖検発見 9 その他(症状受診を含む)、不明
11	診断名 (原発部位名)	テキスト、もしくは、コードによる提出
12	側性	1 右側 2 左側 3 両側
13	進展度(臨床進行度)	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明
14	組織診断名	テキスト、もしくは、ICD-O-3-Mコード
15	診断根拠	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的な腫瘍マーカー 5 臨床検査 6 臨床診断 9 不明
16	外科的治療の有無	1 有 2 無 9 不明
17	体腔鏡的治療の有無	1 有 2 無 9 不明
18	内視鏡的治療の有無	1 有 2 無 9 不明
19	外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	1 原発巣完全切除 2 原発巣不完全切除 3 原発巣切除治療度不明 4 姑息/対症/転移巣切除 9 不詳
20	放射線治療	1 有 2 無 9 不明
21	化学療法	1 有 2 無 9 不明
22	免疫療法・BRM	1 有 2 無 9 不明
23	内分泌療法	1 有 2 無 9 不明
24	その他の治療	1 有 2 無 9 不明
25	死亡日	日付

地域がん診療拠点病院 院内がん登録 登録標準項目とその定義

2006 年度版改訂検討メンバー

- 山城 勝重 独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター臨床研究部長
- 南 優子 宮城県立がんセンター前疫学部長(現:東北大学医学部保健学科教授)
- 西野善一 宮城県立がんセンター研究所疫学部 上席主任研究員
- 柴田亜希子 山形県立がん・生活習慣病センター 専門研究員
- 猿木信裕 群馬県立がんセンター 手術部長
- 本荘 哲 栃木県立がんセンター研究所疫学研究室長
- 岡本直幸 神奈川県立がんセンター臨床研究所第三科長
- 祖父江友孝 国立がんセンターがん予防・検診研究センター情報研究部長
- 金子 聰 国立がんセンターがん予防・検診研究センター情報研究部室長
- 今村由香 国立がんセンターがん予防・検診研究センター情報研究部研究員
- 伊藤秀美 愛知県がんセンター研究所疫学部
- 西本 寛 大津赤十字病院呼吸器科 (現:国立がんセンター情報研究部がんサーベイランス解析室長)
- 津熊秀明 大阪府立成人病センター調査部調査課長
- 味木和喜子 大阪府立成人病センター調査部調査課参事
- 谷水正人 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター外来部長
- 早田みどり 放射線影響研究所(長崎)疫学部副部長